

**IGS、経済産業省『「未来の教室」実証事業』に採択
三重県教育委員会の協力により、産業界で求められるコンピテンシーから
逆算したPBL※の要件定義と、それに基づいたPBLを開発・実証**

Institution for a Global Society 株式会社(本社・東京都渋谷区、代表取締役社長・福原正大、以下IGS)は、このたび、経済産業省『「未来の教室」実証事業(平成29年度補正学びと社会の連携促進事業(「未来の教室」学びの場創出事業))』の事業者に採択されましたのでお知らせいたします。

※PBL : project-based learning、課題解決型学習

◆『「未来の教室」実証事業』について

『「未来の教室」実証事業』では、2018年1~6月に開催された『経済産業省「「未来の教室」とEdTech研究会』での議論内容を踏まえた「未来の教室」の姿を具現化するための実証が行われます。実証を通じて成功例、または成功例につながる足掛かりを創出するとともに、開発・運営にあたっての課題を抽出し、解決の方向性を見出すことを目的としています。

経済産業省 ニュースリリース

<http://www.meti.go.jp/press/2018/07/20180717004/20180717004.html>

◆次世代の自動車産業に求められる能力のアセスメントとPBLの構築

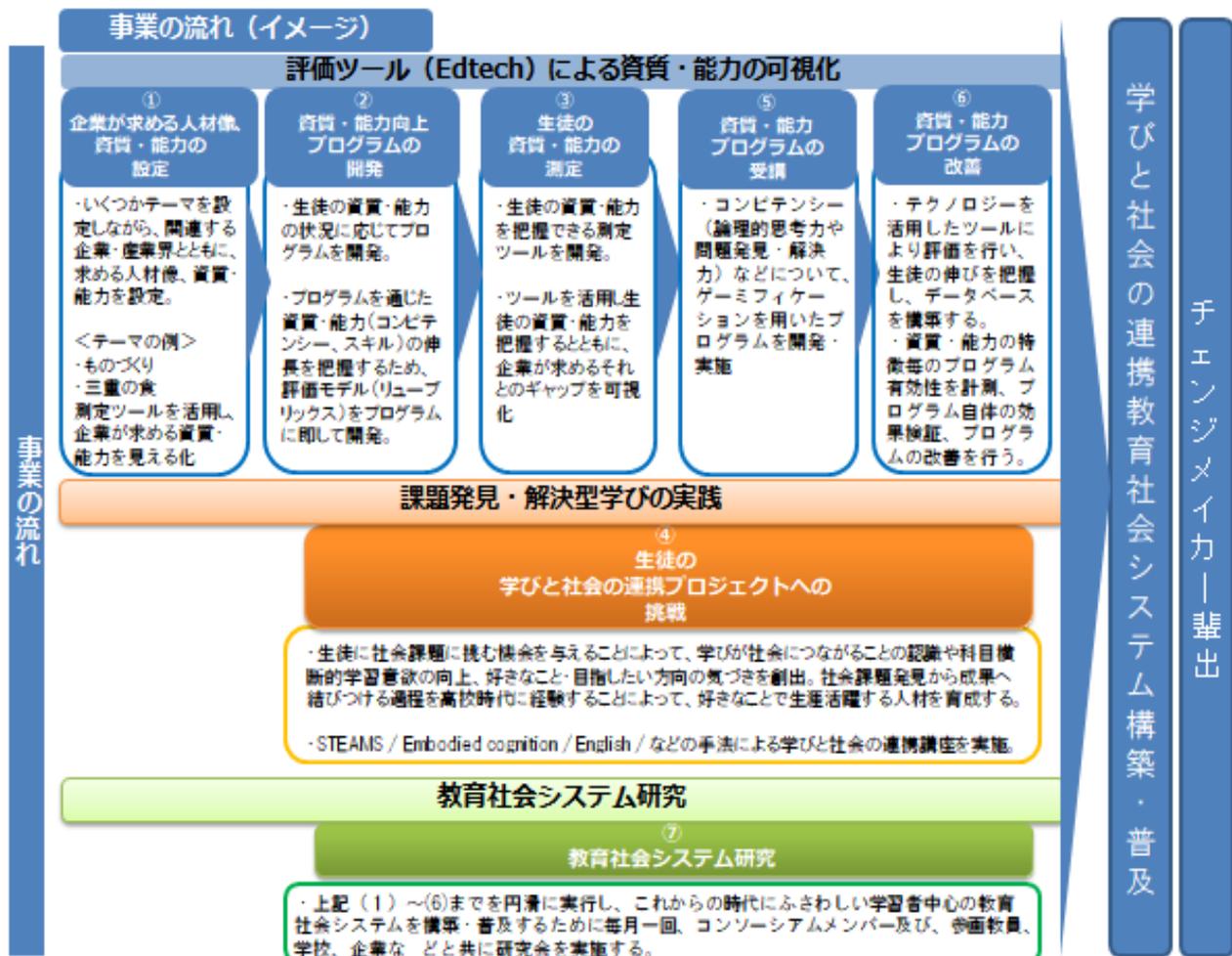
将来のキャリアに適合した非認知能力と、生徒の能力に適合したプロジェクト型学習システムの構築を目指します。

具体的には、自動車産業をモデルとし、次世代の自動車産業で必要とされる資質・能力を育成するためPBLの要件定義と講座、評価システムを構築します。各生徒の現状の資質・能力をビッグデータとAIで評価、自動車産業界が求める能力と高校生の能力ギャップを可視化した上で、生徒に適切なPBLを提供し、講座終了後に効果測定を行います。

求められる資質や能力の測定は、IGSが開発・提供している、AIを活用したコンピテンシー360度評価及び気質診断ツール「GROW360」を用いて行います。「GROW360」は、スマートフォンやタブレット上で、潜在性格診断(iAT)とコンピテンシー評価(自己評価・他者評価)によって、バイアスを除去、能力を客観的にスコアリングすることができるツールです。

本事業は、下記の専門家の協力を得て進めてまいります。

- ・三重県教育委員会
- ・井原慶子氏 カーレーサー/三重県政策アドバイザー/日産自動車社外取締役/慶應義塾大学大学院特任准教授
- ・藤本徹氏 東京大学 大学総合教育研究センター 特任講師
- ・坂井裕紀氏 TFC 株式会社 取締役 / 産業カウンセラー / 心理相談員
- ・池尻良平氏 東京大学大学院情報学環 特任講師
- ・木村充氏 立教大学経営学部リーダーシップ



◆本プロジェクトの大学入試や高校教育における応用可能性

2020年度の大学入試から非認知能力の評価が加わることが決定している中、大学入試における評価データとして、また高校において将来のキャリア希望を踏まえた上での非認知能力を養成する最適なPBL構築に応用することが可能となります。

■IGS (Institution for a Global Society) 株式会社

所在地：〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-3-18 広尾オフィスビル7階

設立：2010年5月

資本金：98,000,000円 (主要株主：東京大学エッジキャピタル、東京理科大学インベストメント・マネジメント、慶應イノベーション・イニシアティブ、みやこキャピタル、ウィザス、河合塾)

事業内容：教育事業、HR事業、海外事業

本件に関する報道関係者からの問い合わせ先

IGS 広報担当 中里・小川 [TEL:03-6447-7151](tel:03-6447-7151)

Email: info@i-globalsociety.com